

よさのうみ通信 令和4年度 No.9

(TEL) 0772-46-2770 (FAX) 0772-46-2771
(H P) <http://www.kyoto-be.ne.jp/yosanoumi-s>

【高等部】丹後府立高校・与謝の海支援学校交流会

10月29日（土）に第34回丹後府立高校・与謝の海支援学校交流会を行いました。

全体会であいさつや各校の紹介を行い、その後分科会に分かれて、「室内ゲーム」、「工作」、「スポーツ」、「共同絵画」、「折り紙」、「レクリエーション」などのブースで一緒に活動しました。

本校が担当する分科会では、授業で行っている窯業を体験してもらおうと企画しました。ろくろを使った湯のみの作り方を他校生に教えながら交流を深めました。

最後の全体会では、それぞれの分科会の様子を交流し、みんなで手話歌「世界に一つだけの花」を披露し、あたたかな雰囲気になりました。半日でしたが、とても貴重な交流会となりました。



【中学部】橋立中学校との交流会

11月4日（金）に橋立中学校との交流及び共同学習を行いました。「新しい友だち（集団）を意識しつつ、お互いの紹介や、歌やゲームなどの活動を一緒に楽しむ。また、その中で共生社会に生きる仲間としての意識を育てていく。」ことをねらいに、橋立中学校の2年生とリモートでの交流会を行いました。全体会では、両校の発表があり本校からは体育祭で踊った「よさのうみソーラン」を披露し、橋立中学校からは「学年合唱」「学級合唱」「部活動紹介」がありました。グループでの交流では、1学期に自己紹介をした人たちと「音楽①」「音楽②」「クイズ①」「クイズ②」「ものづくり①」「ものづくり②」の6グループに分かれて活動を行いました。画面越しですが、お互いに事前に準備してきた内容で楽しくやりとりしながら交流することができました。



第22回全国障害者スポーツ大会
「いちご一会(いちえ)とちぎ大会」
フライングディスク競技の部

高等部3年 齋藤 悠真さん



おめでとう！
アキュラシーの部 **金メダル**
ディスタンスの部 **銀メダル**

令和4年10月29日（土）～31日（月）の3日間、栃木市総合公園陸上競技場で行われた第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会(いちえ)とちぎ大会」フライングディスク競技の部で、見事、「アキュラシーの部」金メダル、「ディスタンスの部」銀メダルを獲得しました！

自立活動の取組

本校の自立活動は「運動機能」「療育」「言語」の3つの分野があります。今回は、それぞれの分野で取り組んでいる活動内容について紹介します。

レースランナー（フレームランニング）をご存じですか？

レースランナーとはデンマーク生まれの三輪で構成された一見自転車のような洗練されたデザインのスポーツマシンです。日本ではまだ、知られていませんが、ヨーロッパではすでに世界レベルの大きな大会が実施されているほど普及しています。「風を切って、走りたい！」という願いは障害があってもなくても共通のもの。しかし、運動機能に障害がある場合には、それが難しく、歩けない、走れない、走れるが転倒が怖い…など理由は様々です。しかし、レースランナーを使うと、「風を切って走ることができる」可能性が広がり願いをかなえる夢のマシンなのです。また、身体を思うように動かすことが難しい子どもたちは運動する機会が極端に少ないため、心肺機能が心配という面がありますが、レースランナーはそれを解消する一つの選択になります。

本校の運動機能ではレースランナーに取り組んでおり、走る子どもたちの、一人のアスリートとしての誇らしげな表情が印象的です。かっこよく走る姿ですてきですね！



運動機能

児童生徒の課題や学級のニーズに応じて、少人数のグループで授業をする抽出指導と、学級や学習グループに療育担当が入り担任と一緒に指導する入込指導を行っています。

療育指導では、学習や生活の中での課題や、行動、運動、感覚、認知、コミュニケーションなどにアプローチして、興味関心の幅を広げて児童生徒が主体的に活動に取り組み“できた”という達成感や“分かった”という喜びを感じて自信を高めることを大切にしています。

身体づくり

粗大運動（全身を使う大きな動き）は、手指先を使う微細運動の発達にも欠かせないものです。全身を使った運動や感覚にはたらきかける活動を通して感覚の偏りや不器用さにアプローチし、身体の使い方やボディイメージ、協調運動などの発達促進をねらいに指導しています。



コミュニケーション

ルールのあるゲームや、活動の振り返りを通して社会生活や対人関係に必要なやりとりを体験的に学習しています。また、自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け止めたりする場を設定し、コミュニケーション力を高められるよう取り組んでいます。



言語

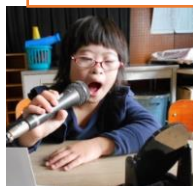
言語指導は、発声や発音に課題がある児童生徒の音声言語機能を充実させ、コミュニケーションの力を育てることをねらいとして指導を行っています。

- ①発声や発語、正しい発音の土台となる唇や舌、顎の動き、呼吸、声の調整機能に働きかける内容
- ②正しい発音を意識する土台となる「聞き分ける力」に働きかける内容
- ③発語や発音の課題に対する補助手段となるジェスチャーやサイン、手話、絵カード、文字、AAC(拡大代替コミュニケーション)などの内容
- ④人と関わりたい気持ちや伝えたい意欲を育てる内容

これらの視点を持ち、児童生徒が意欲的に課題に取り組めるように、それぞれの興味があることを教材に取り入れながら授業を進めています。

マイクを使って発声することを楽しみながら、口をしっかりと開けて発音することや自分の発声を聞くことへの意識を高めます。

口や舌、呼吸をコントロールする取組は、発声や明瞭な発音をするための大切な土台作りになります。



好きな遊びを主体的に展開する中で、相手とイメージを共有し、思いを伝えたり楽しさを共感したりする言語的なやりとりの幅を広げます。

関心の高いものの文字表記に親しむことからスタートして、文字の識別、音韻の理解、発音練習などに取り組みます。



12月の予定

12月8日(木) ～14日(水)	作品展
9日(金)	高等部参観日
12日(月)	中学部参観日
13日(火)	小学部参観日
20日(火)	2学期終業式

※行事等は変更する場合があります。